



2015 村勢要覧



ライスセンター竣工式（2014年9月）

栄 村

長 野 県

目次

◆紹介	1
◆人口	4
◆行財政	5
◆産業	7
◆生活環境	8
◆福祉医療	9
◆教育	10
◆栄村のあゆみ	11

◆紹介

村章

村木の桐の花の紫色を背景にさかえの頭文字である「さ」を、希望と躍進の願いをこめて、生き生きと表象化したものです。



村の木／桐

天に向かって真っ直ぐ伸びる桐は、未来に向かって限らない発展をめざす栄村にもっともふさわしい木です。

村の花／カタクリ

豪雪に耐えて、春真っ先に咲く美しくも可憐な花は、万葉集にも数多く登場する馴染み深い花。村内各地に群生し、風にゆれる姿は、春の喜びと希望を与えてくれます。



村の鳥／ブッポウソウ

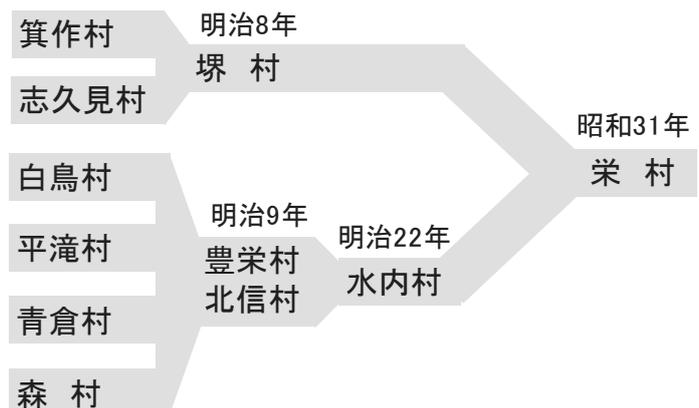
緑豊かな栄村のブナ林が、数少ない繁殖場所となっている貴重な鳥で、長野県の天然記念物に指定されています。森林の宝石鳥とも呼ばれる美しい鳥で、限らない夢を与えてくれます。

栄村民憲章

- 一、自然を愛し、環境を整え、美しい村をつくります。
- 二、生産をすすめ、豊かな、くらしよい村をつくります。
- 三、子供をはぐくみ、おとしよりを敬う、温かい村をつくります。
- 四、体をきたえ、大自然の中で躍動する、活力ある村をつくります。
- 五、心のふれ合いを深め、礼儀に厚い、連帯感にみちた村をつくります。
- 六、教育を尊び、知識を求め、創意にあふれる村をつくります。

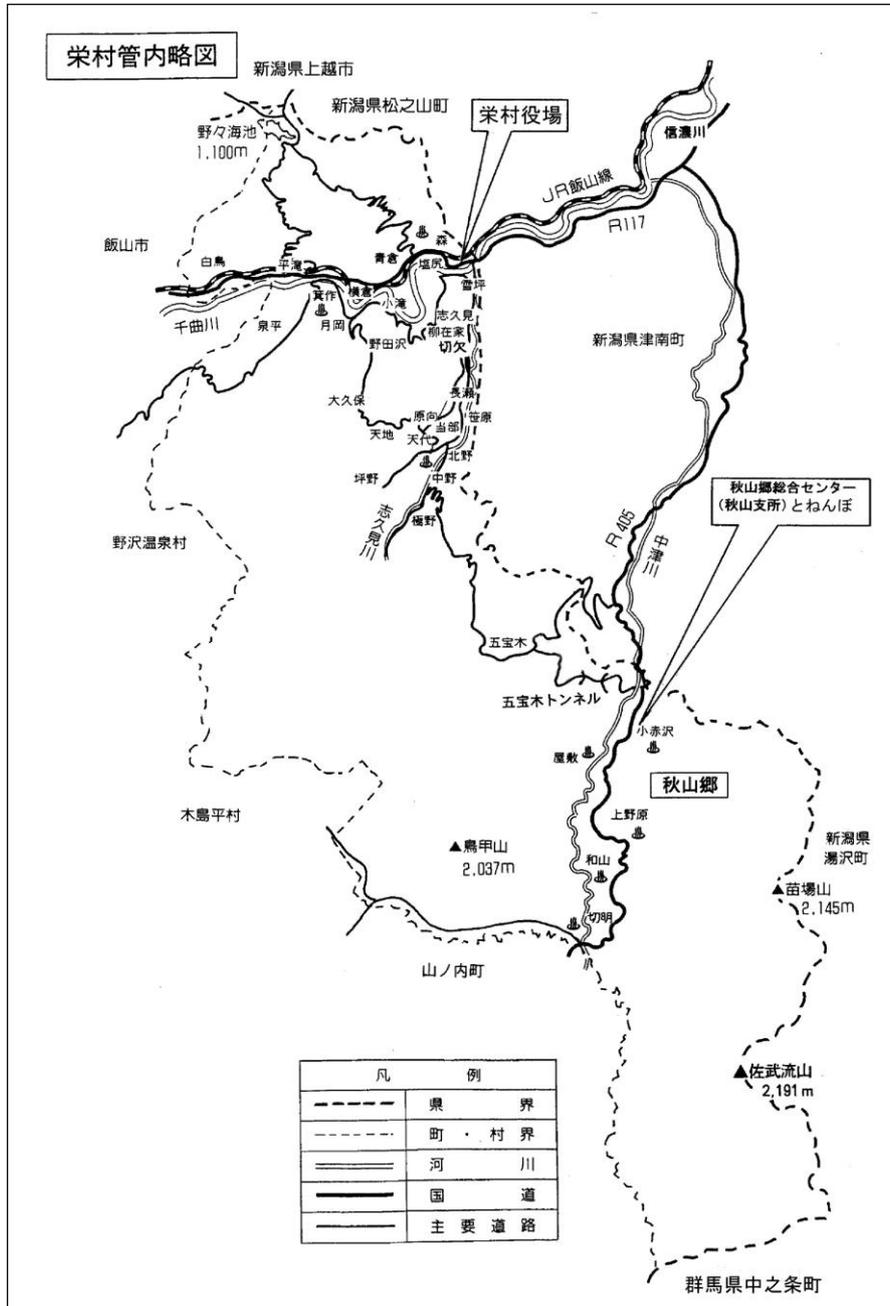
栄村の歴史

現在の栄村は、昭和31年9月に下高井郡堺村と下水内郡水内村とが合併して生まれました。(右図参照)



昭和30年国勢調査

	人口	世帯
堺村	5,641人	862戸
水内村	2,331人	433戸

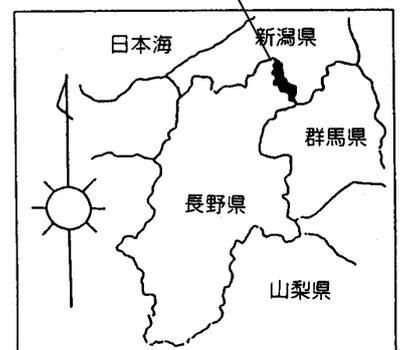


広ぼう

長野県の最北端に位置する本村は、東西 19.1km 南北 33.7km、周囲 106.0km におよび、271.51km²の広大な面積を有しており、その 92.8%を山林原野が占めている。

また、9市町村と接しているため境界線は複雑なラインを描いており、北部を千曲川が東西に横断し、志久見川・中津川が南北を縦断して流れ、それらの川の沿岸平坦部に集落を形成している。南部は鳥甲山、苗場山を中心に 2,000m 級の山々が連なる山岳地帯で、日本海型の気候により全国でも有数の豪雪地として知られている。

東西	19.1 km
南北	33.7 km
周囲	106.0 km
面積	271.51km ²
役場の海拔	286 m
海拔最高	2,191.5 m (佐武流山)
最低	256 m (塩尻)
北緯	36度 59分
東経	138度 35分



地目別面積

平成 26 年 1 月 1 日現在 (単位: km²)

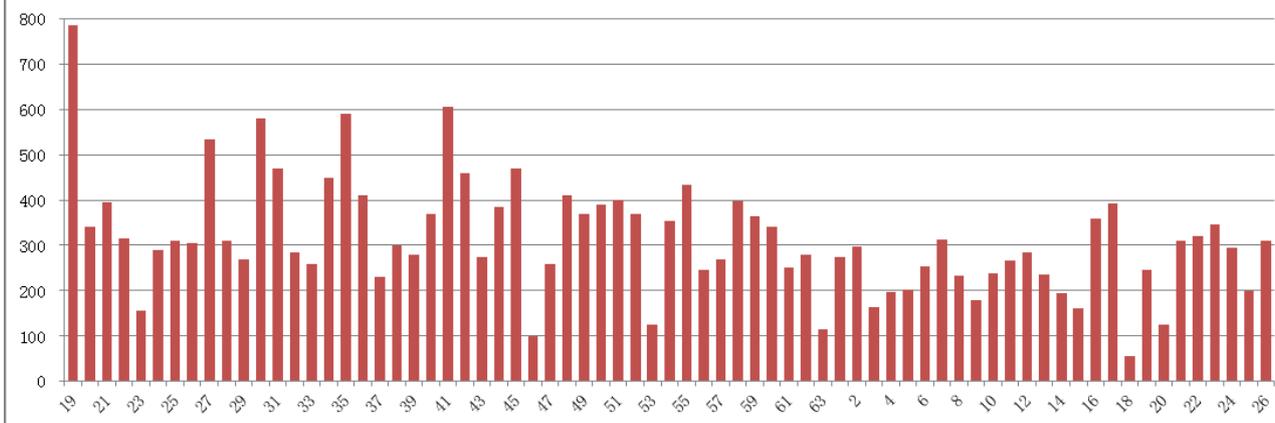
総面積	田	畑	宅地	沼地	山林	原野	その他※
271.51	4.62	4.21	0.61	0.02	39.16	13.79	209.01

※国有林、鉄道等

(資料: 会計事務課)

●年度別最高積雪状態

(資料:昭和19年～飯山線森宮野原保線区 昭和56年～栄村役場)



●地区別降雪・積雪総括表

(資料:総務課)

	平成25年度			平成26年度		
	白鳥	森	小赤沢	白鳥	森	小赤沢
初雪	平成25年11月12日	平成25年11月12日	平成25年11月12日	平成26年12月6日	平成26年12月6日	平成26年12月5日
根雪	平成25年12月12日	平成25年12月12日	平成25年12月12日	平成26年12月6日	平成26年12月6日	平成26年12月5日
積雪積算	16,413cm	13,309cm	17,283cm	30,250cm	25,588cm	27,375cm
平均積雪	104cm	87cm	105cm	213cm	190cm	190cm
総降雪	1,117cm	1,276cm	1,033cm	1,540cm	1,575cm	1,241cm
平均降雪	14cm	17cm	14cm	24cm	23cm	18cm
最深積雪	230cm	200cm	265cm	330cm	310cm	325cm
最深積雪時期	平成26年3月9日	平成26年3月8日	平成26年2月19日	平成27年2月15日	平成27年2月10日	平成27年2月16日
最高降雪(1日)	52cm	58cm	55cm	97cm	100cm	60cm
最高降雪時期	平成26年1月10日	平成26年1月13日	平成26年2月16日	平成26年12月14日	平成26年12月15日	平成26年12月15日
積雪の期間	158日	153日	165日	142日	135日	144日
降雪日数	78日	77日	73日	65日	68日	68日
最終降雪日	平成26年4月7日	平成26年4月7日	平成26年4月7日	平成27年3月26日	平成27年4月8日	平成27年4月8日
融雪	平成26年4月19日	平成26年4月14日	平成26年4月26日	平成27年4月27日	平成27年4月20日	平成27年4月28日

※平均積雪は、積雪積算÷初積雪～融雪までの日数

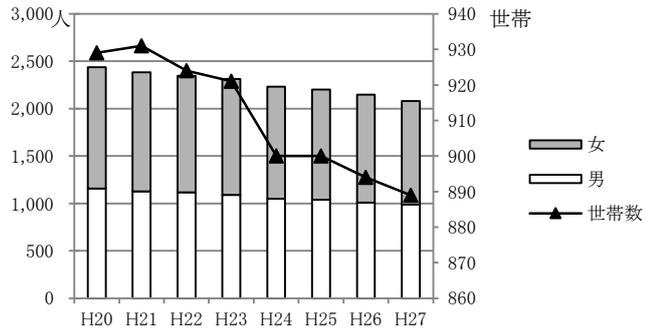
※平均降雪は、総降雪÷降雪日数

◆人口

●人口推移 (各年4月1日現在) (単位：人、世帯)

年度	人口			世帯数
	男	女	総数	
H20	1,158	1,280	2,438	929
H21	1,128	1,255	2,383	931
H22	1,117	1,231	2,348	924
H23	1,090	1,221	2,311	921
H24	1,050	1,183	2,233	900
H25	1,039	1,164	2,203	900
H26	1,010	1,139	2,149	894
H27	988	1,092	2,080	889

※外国人含む (資料：住民福祉課)

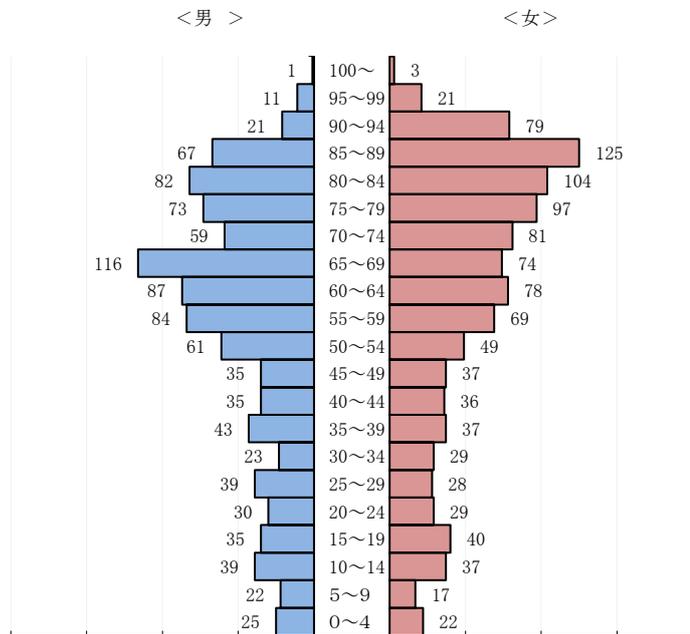


●年齢別人口 平成27年4月1日

年齢	人口（人）			比率（%）
	男	女	計	
0～4	25	22	47	2.3
5～9	22	17	39	1.9
10～14	39	37	76	3.7
15～19	35	40	75	3.6
20～24	30	29	59	2.8
25～29	39	28	67	3.2
30～34	23	29	52	2.5
35～39	43	37	80	3.8
40～44	35	36	71	3.4
45～49	35	37	72	3.5
50～54	61	49	110	5.3
55～59	84	69	153	7.4
60～64	87	78	165	7.9
65～69	116	74	190	9.1
70～74	59	81	140	6.7
75～79	73	97	170	8.2
80～84	82	104	186	8.9
85～89	67	125	192	9.2
90～94	21	79	100	4.8
95～99	11	21	32	1.5
100～	1	3	4	0.0
合計	988	1,092	2,080	100.0

※外国人含む (資料：住民福祉課)

人口ピラミッドグラフ



年齢区分	人口（人）			比率（%）
	男	女	計	
年少人口	86	76	162	7.8
生産人口	472	432	904	43.5
高齢人口	430	584	1,014	48.8

●人口動態

区分 年度	自然動態（人）			社会動態（人）			計 増減
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減	
H19	7	41	△ 34	45	78	△ 33	△ 10
H20	5	56	△ 51	55	58	△ 3	△ 67
H21	8	47	△ 39	56	52	4	△ 54
H22	8	35	△ 27	44	42	2	△ 35
H23	9	61	△ 52	51	82	△ 31	△ 25
H24	7	47	△ 40	66	57	9	△ 83
H25	9	53	△ 44	63	75	△ 12	△ 31
H26	11	44	△ 33	57	72	△ 15	△ 48

※外国人含まない。(資料：「住民基本台帳年報告【処理日】」)

●平均・最高年齢・高齢化率

平成27年4月1日現在

	男	女	全体
人口計	988人	1,092人	2,080人
平均年齢	55.6歳	61.3歳	58.6歳
65歳以上	430人	584人	1,014人
高齢化率	43.5%	53.5%	48.8%
最高年齢	105歳	105歳	105歳

※外国人含む (資料：住民福祉課)

◆ 行財政

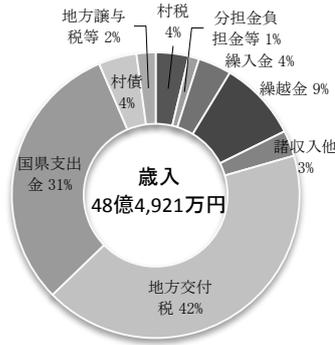
●行政機構図及び職員数（平成27年4月1日現在）

		総 職 員 数				臨時 職員		
		課長等	係長	係員	計			
議 会	議 会 事 務 局	1	-	-	1	1		
村 長	副 村 長	総 務 課	行政係	1	1	9	1	
			情報防災係	1	1		-	
			企画財政係	1	2		-	
			秋山支所		-		1	
	産 業 建 設 課	産業振興係	1	1	4	15	1	
		建設係		1	3		2	
		農地係		1	2		-	
		国土調査係		1	1		2	
	商 工 観 光 課	企業観光係	1	1	1	7	2	
		スキー場係		1	1			
		ジオパーク推進係		1	1			
	住 民 福 祉 課	生活福祉係	1	1	4	11	1	
		保 育 園		北信	1		4	3
				秋山	-		-	-
	健 康 支 援 課	介護支援係	1	1	6	23	2	
健康増進係		1		6	1			
		歯科		1	2			
内科		1		4	1			
教 育 委 員 会	教 育 長	事 務 局 長	学校教育係	1	1	-	6	1
			小 学 校		-	1		4
			中 学 校		-	1		2
			生涯学習係		1	1		1
			公民館長		公 民 館	兼 務		-
農 業 委 員 会	事 務 局	産 業 建 設 課	兼 務		-			
固 定 資 産 評 価 審 査 委 員 会	事 務 局	会 計 税 務 課	兼 務		-			
選 挙 管 理 委 員 会	事 務 局	総 務 課 担 当	兼 務		-			
監 査 委 員	事 務 局	議 会 事 務 局	兼 務		-			
派 遣 ・ 出 向			3		3	-		

●平成25年度決算

歳入 (千円)

項目	金額
村税	179,758
分担金負担金等	56,895
繰入金	181,253
繰越金	436,785
諸収入他	141,384
地方交付税	2,045,391
国県支出金	1,496,370
村債	207,548
地方譲与税等	103,829
合計	4,849,213



歳出 (千円)

項目	金額
総務費	935,947
民生費	390,341
衛生費	217,345
農林水産業費	506,582
商工費	303,235
土木費	503,294
教育費	169,731
消防費他	706,712
公債費	319,776
議会費	48,968
合計	4,101,931



【特別会計】

(単位:千円)

会計名	歳入	歳出	差引残金	歳入のうち一般会計からの繰入金
国民健康保険(事業勘定)	304,638	264,134	40,504	19,179
国民健康保険(施設勘定)	141,803	139,543	2,260	10,441
秋山診療所	8,400	8,391	9	0
後期高齢者医療	31,646	31,328	318	14,732
介護保険	335,064	334,073	991	55,256
介護サービス	63,637	62,609	1,028	18,000
簡易水道	66,264	65,009	1,255	38,230
生活排水処理	65,574	65,039	535	29,290
農業集落排水	16,375	15,856	519	9,311
スキー場	97,957	91,993	5,964	58,944
ケーブルテレビ	22,616	21,726	890	6,051
合計	1,153,974	1,099,701	54,273	259,434

●平成27年度当初予算

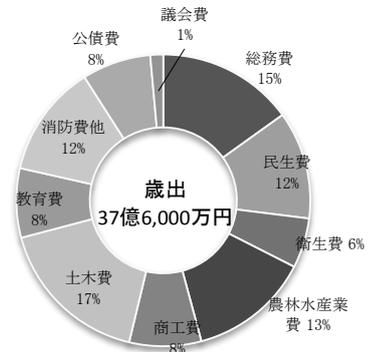
歳入 (千円)

項目	金額
村税	179,022
分担金負担金等	51,662
繰入金	348,166
繰越金	5,000
諸収入他	117,158
地方交付税	1,640,000
国県支出金	728,512
村債	607,500
地方譲与税等	82,980
合計	3,760,000



歳出 (千円)

項目	金額
総務費	565,804
民生費	448,991
衛生費	208,118
農林水産業費	500,160
商工費	297,594
土木費	644,076
教育費	288,815
消防費他	467,742
公債費	285,335
議会費	53,365
合計	3,760,000

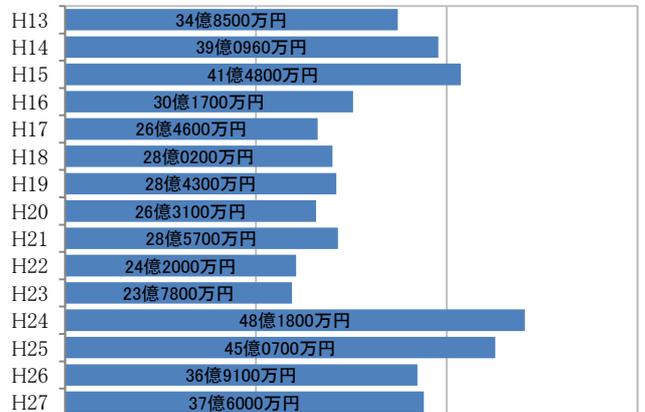


●一般会計当初予算規模の推移

【特別会計】

(単位:千円)

会計名	平成27年度	前年比較 増減額	収入のうち一般 会計からの繰入金
国民健康保険(事業勘定)	320,971	48,456	17,157
国民健康保険(施設勘定)	135,635	△ 12,067	28,893
秋山診療所	6,105	△ 4,458	0
後期高齢者医療	30,773	△ 2,571	15,831
介護保険	379,134	32,786	81,324
介護サービス	55,974	△ 12,055	19,009
簡易水道	103,266	△ 17,971	69,714
生活排水処理	45,655	△ 1,701	12,217
農業集落排水	14,318	6,774	7,424
スキー場	130,732	13,555	68,508
ケーブルテレビ	45,129	24,982	31,459
合計	1,267,692	75,730	351,536



◆産業

●産業(大分類)別 15歳以上就業者数

(単位:人)

産業分類	年度	平成2年			平成7年			平成12年			平成17年			区分	平成22年		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女		計	男	女
第一次産業	農業	827	378	449	704	341	363	600	308	292	520	270	250	農業	358	209	149
	林業・狩猟業	16	16	0	5	4	1	5	5	0	25	21	4	林業	31	29	2
	漁業・水産養殖業	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	漁業	0	0	0
	計	844	395	449	709	345	364	605	313	292	545	291	254	計	389	238	151
第二次産業	鉱業	4	4	0	6	6	0	3	3	0	5	5	0	鉱業	1	1	0
	建設業	259	211	48	260	216	44	213	184	29	155	140	15	建設業	107	97	10
	製造業	218	92	126	198	86	112	136	56	80	118	47	71	製造業	84	43	41
	計	481	307	174	464	308	156	352	243	109	278	192	86	計	192	141	51
第三次産業	卸売業・小売業	137	71	66	137	76	61	131	63	68	112	57	55	卸売・小売業	98	56	42
	金融・保険業	3	2	1	2	1	1	3	0	3	0	0	0	金融・保険業	0	0	0
	不動産業	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	不動産業	2	1	1
	運輸・通信業	46	40	6	50	42	8	46	41	5	6	5	1	情報通信業	1	0	1
	電気・ガス・水道・熱供給業	3	3	0	2	2	0	2	2	0	1	1	0	運輸業・郵便業	29	26	3
	サービス業	275	148	127	321	165	156	304	150	154	25	21	4	運輸業・郵便業	29	26	3
											1	1	0	電気・ガス・水道業	1	1	0
											95	49	46	飲食店・宿泊業	92	43	49
											87	12	75	医療・福祉	98	17	81
											46	22	24	教育・学習支援業	49	22	27
	72	49	23	複合サービス業	30	14	16										
69	36	33	サービス業	54	31	23											
公務	70	59	11	82	68	14	101	79	22	86	73	13	公務	86	66	20	
計	535	324	211	595	355	240	588	336	252	600	326	274	計	540	277	263	
分類不能	0	0	0	3	3	0	2	1	1	11	6	5	分類不能	7	2	5	
合計	1,860	1,026	834	1,771	1,011	760	1,547	893	654	1,434	815	619	合計	1,128	658	470	

(資料:国勢調査)

●産業(大分類)別 事業所数

産業分類	年度	S61年	H3年	H8年	H13年	H18年	H24年
総事業所数		202	201	165	179	143	109
農林漁業		6	6	4	8	6	5
鉱業		-	-	-	-	-	-
建設業		26	27	23	23	23	18
製造業		22	22	18	10	9	6
電気・ガス・水道・熱供給業		1	2	1	1		
運輸・通信業		15	15	7	10	3	4
卸・小売・飲食店		64	59	54	57	42	23
金融・保険業		-	-	-	-	-	1
不動産業		-	-	-	-	-	-
サービス業他		68	70	58	70	60	52

(資料:事業所・企業統計調査、経済センサス活動調査)

●観光客数の推移

(単位:百人)

区分 年度	秋山	苗場・ 鳥山山	千曲川 沿線	スキー場
H18	368	47	1,182	123
H19	341	45	1,289	169
H20	339	50	1,128	145
H21	358	60	1,011	148
H22	341	72	950	128
H23	245	49	548	114
H24	264	58	934	132
H25	257	57	891	148
H26	231	55	799	136

※スキー場は、H8年12月20日開業

数値は、千曲川沿線の内数

(資料:商工観光課)

●農家人口及び経営耕地面積の推移

各年2月1日現在 (単位:戸・人・ha)

区分 年度	総数	専業 農家	兼業農家		農家人口			経営耕地面積				耕作放棄 地面積
			第1種	第2種	総数	男	女	計	田	畑	樹園地	
H7	673	135	114	424	2,299	1,133	1,166	415	265	149	1	65
H12	603	※ 96	※ 54	※ 251	2,020	1,002	1,018	343	240	100	3	73
H17	549	※ 100	※ 67	※ 186	2,160	1,102	1,058	295	213	80	2	30
H22	494	※ 107	※ 29	※ 160	1,729	888	841	306	200	105	1	60

※平成12・17・22年度の専業・兼業農家の数値は、販売農家のみ (資料:農林業センサス)

●農業粗生産

(単位:千万円)

区分 年度	計 ① + ② + ③	耕種										畜産					加工 農産物 ③	栽培 きのこ		
		小計 ①	米	麦類	雑穀・ 豆類	いも 類	野菜	果実	花き	工芸・ 農産物	種 苗・ 苗木 類	小計 ②	肉用 牛	乳用 牛	豚	鶏			養 蚕	その他
H21	63	40	27	-	0	1	12	0	0	-	-	22	30	X	X	-	-	-	1	71
H22	64	38	27	-	0	1	10	0	0	-	-	24	33	X	X	-	-	-	2	56
H23	58	32	21	-	0	1	10	0	0	-	-	26	24	X	X	-	-	-	0	21
H24	38	37	25	-	1	1	10	0	0	-	-	X	X	0	0	-	-	-	1	78
H25	34	33	21	-	1	1	10	0	0	-	-	X	X	-	-	-	-	-	1	10
H26	33	32	20	-	1	1	10	0	0	-	-	X	X	-	-	-	-	-	1	54

(資料:産業建設課)

◆生活環境

●保育所の推移

各年5月1日現在(単位:人)

年度	22	23	24	25	26	27
区分						
保育所数	2	2	2	2	2	2
園児数	38	30	35	32	38	40
保育士等数	7	7	7	10	9	7

※保育士数:パート職員含まない

(資料:住民福祉課)

●デマンドバス利用状況

区分	利用者(人)	1日当たり(人)
20	5,894	24
21	5,973	25
22	5,622	24
23	4,204	18
24	4,841	19
25	4,631	17
26	7,921	33

(資料:住民福祉課)

●村内交通事故の状況

区分	事故件数	死傷者数		
		総数	死者	負傷者
20	8件	10人	-	10人
21	2件	2人	-	2人
22	6件	7人	1人	6人
23	10件	15人	1人	14人
24	7件	16人	-	16人
25	6件	10人	-	10人
26	5件	5人	-	5人

※人身事故のみ

(資料:総務課)

●救急車出動状況

(単位:件・人)

年度	19	20	21	22	23	24	25	26
区分								
出動件数	86	110	102	144	129	160	131	136
搬送人員	87	103	96	140	128	153	121	124

※岳北消防署、十日町消防署の計

(資料:岳北消防本部)

●消防の状況

平成27年4月1日現在

区分	数
団員	225
積載車	20
可搬ポンプ	26
防火水槽	93

●道路の状況 平成27年4月1日現在 (単位:m、%)

区分	路線数	延長	改良延長	改良率	舗装延長	舗装率	
一般国道	2路線	19,849.4	14,131.2	71.19	19,809.4	99.80	
一般県道	4路線	46,681.5	13,750.2	29.46	43,948.9	94.15	
村道	1級	2路線	21,736.0	19,778.0	90.99	21,550.0	99.14
	2級	19路線	50,409.0	35,666.0	70.75	43,305.0	85.91
	その他	543路線	281,447.0	62,140.0	22.08	101,966.0	36.23
	小計	564路線	353,592.0	117,584.0	33.25	166,821.0	47.18
総計	570路線	420,122.9	145,465.4	-	230,579.3	-	

(資料:産業建設課)

●除雪機械台数

(単位:台)

年度	20	21	22	23	24	25	26
区分							
ロータリー車	12	13	13	14	15	14	14
タイヤドーザー	13	14	16	16	16	16	16
ブルドーザー	17	17	16	16	16	15	15
計	42	44	45	46	47	45	45

(資料:産業建設課)

●道路除雪状況

年度	22	23	24	25	26
区分					
除雪延長	76.0 km (140路線)	76.0 km (140路線)	76.5 km (140路線)	80.6 km (141路線)	80.6 km (141路線)
(春山除雪)	126.1 km (44路線)				
消雪パイプ延長	3,270.0 m (9路線)	3,259.0 m (9路線)	3,259.0 m (9路線)	3,259.0 m (9路線)	3,735.5 m (9路線)
流水道路延長	2,091 m (6路線)				
消雪池	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所

(資料:産業建設課)

●ごみ・し尿処理状況

人口は4月1日現在

年度	区分	総人口(人)	年間処理量		一人当たり処理量	
			ごみ(t)	し尿(*)(%)	ごみ(kg)	し尿(%)
22		2,348	913	1,730	389	737
23		2,311	1,218	1,897	527	821
24		2,233	653	1,490	292	667
25		2,203	617	1,713	280	778
25		2,096	599	1,749	286	834

※し尿は、汚泥を含む

(資料:住民福祉課)

●水道給水状況

各年4月1日現在

年度	区分	村		給水		普及率	
		世帯(A)(戸)	人口(B)(人)	世帯(C)(戸)	人口(D)(人)	世帯(C)/(A)	人口(D)/(B)
22		921	2,311	865	2,133	94%	92%
23		900	2,233	844	2,034	94%	91%
24		900	2,203	846	2,002	94%	91%
25		894	2,149	816	1,946	91%	91%
26		885	2,083	771	1,910	87%	92%

(資料:産業建設課)

●合併処理浄化槽設置状況

年度	区分	設置基数(基)	整備人口(人)	普及率(%)
22		468	1,438	67.2
23		437	1,321	67.0
24		490	1,597	72.4
25		492	1,508	77.0
26		495	1,465	77.8

※各年度末の状況 (資料:産業建設課)

●農業集落排水設置状況

年度	区分	処理人口(人)	普及率(%)
22		212	87.4
23		191	88.8
24		220	86.3
25		209	95.0
26		202	93.0

※森集落のみ(資料:産業建設課)

◆福祉医療

●介護保険サービスの状況

要介護(支援)認定者数 (平成27年4月1日現在)

(単位:人)

区分	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	39	33	33	14	34	24	177
第2号被保険者				1			1
総数	39	33	33	15	34	24	178

要介護(支援)者の主なサービス利用状況

(単位:人)

区分	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
施設介護		4	7	5	19	19	54
訪問介護	2	3	9	5	1		20
訪問入浴介護					2		2
訪問看護		1	1				2
通所介護	19	14	21	7	2	1	64
通所リハビリ	4	3	3	2		1	13
福祉用具・住宅改修				3			3
短期入所		2	5		3	2	12
その他		3	6	5	5	1	20
総数	25	30	52	27	32	24	190

(資料:健康支援課)

●高齢者総合福祉センター利用状況

(単位:日・人)

年度	区分	デイサービス		
		開所 日数	利用人員	
			延人員	日平均
20		240	3,892	16.2
21		237	3,761	15.9
22		244	3,860	15.8
23		214	2,382	11.1
24		254	3,462	13.6
25		255	3,974	15.6
26		252	4,041	16.0

●死因別死亡者数と割合

年度	区分	脳血管 疾患	ガン	心臓病	呼吸器系の 疾患	不慮の 事故	老衰	自殺	その他	計
21		4 (8.8)	8 (17.7)	8 (17.7)	10 (22.2)	3 (6.6)	3 (6.6)	0 (0.0)	9 (20.0)	45
22		1 (4.0)	5 (20.0)	5 (20.0)	9 (36.0)	1 (4.0)	2 (8.0)	0 (0.0)	2 (8.0)	25
23		8 (17.0)	11 (23.4)	7 (14.9)	8 (17.0)	3 (6.4)	4 (8.5)	0 (0.0)	6 (12.8)	47
24		3 (6.7)	12 (26.7)	7 (15.6)	9 (20.0)	0 (0.0)	2 (4.4)	1 (2.2)	11 (24.4)	45
25		5 (16.7)	4 (13.3)	6 (20.0)	4 (13.3)	4 (13.3)	1 (3.3)	2 (6.7)	4 (13.3)	30
26		4 (9.8)	9 (22.0)	10 (24.4)	8 (19.5)	3 (7.3)	4 (9.8)	1 (2.4)	2 (4.9)	41

(資料:健康支援課)

●国民健康保険税の状況

年度	区分	税率				調定額		
		所得割 (%)	資産割 (%)	平均割 (円)	世帯割 (円)	税額 (円)	1人当たり 税額(円)	1世帯当たり 税額(円)
23	医療分	5.9	41.3	12,270	15,040	24,929,000	35,660	61,100
	介護分	1.7	10.3	5,080	4,060	4,452,000	14,930	18,860
	支援分	2.8	19.3	5,430	6,660	11,167,700	15,970	27,370
24	医療分	5.9	41.3	12,270	15,040	28,170,673	41,550	71,864
	介護分	1.7	10.3	5,080	4,060	4,781,193	17,076	20,879
	支援分	2.8	19.3	5,430	6,660	12,574,934	18,547	32,079
25	医療分	5.9	41.3	12,270	15,040	31,791,700	51,276	83,662
	介護分	1.7	10.3	5,080	4,060	5,208,000	19,877	24,223
	支援分	2.8	19.3	5,430	6,660	14,187,600	22,883	37,335
26	医療分	5.9	41.3	12,270	15,040	30,797,800	52,826	84,842
	介護分	1.7	10.3	5,080	4,000	4,556,500	20,711	24,366
	支援分	2.8	19.3	5,430	6,660	13,737,400	23,563	37,844

(資料:会計事務課)

●国民健康保険加入状況

年度	区分	被保険者		後期 高齢
		世帯数	人数(A)	
22		412	720	704
23		418	730	702
24		406	697	705
25		398	674	692
26		379	618	678

(資料:住民福祉課)

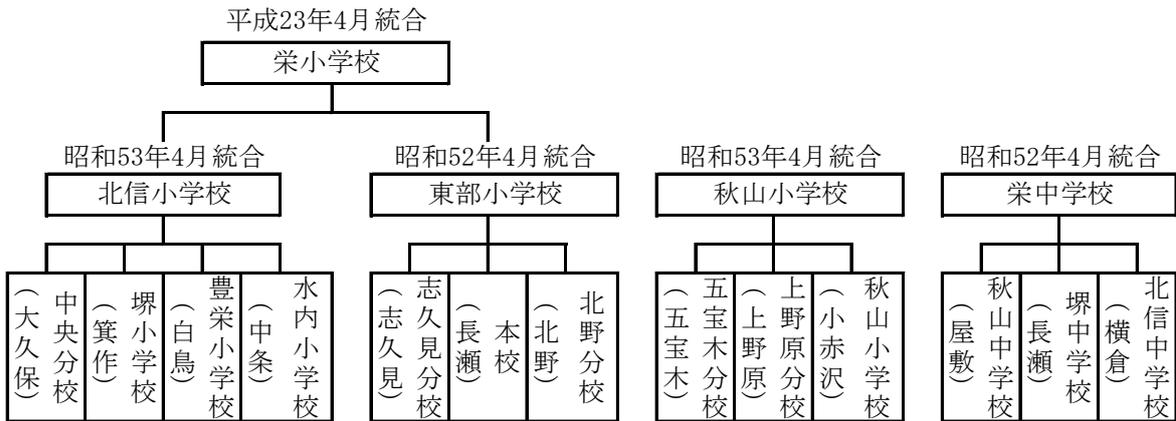
●診療所利用状況

年度	区分	歯科			内科			秋山診療所		
		国保	社保・他	計	国保	社保・他	計	国保	社保・他	計
21		1,272	1,927	3,199	9,893	1,016	10,909	1,290	71	1,361
22		1,851	946	2,797	9,067	1,257	10,324	1,130	88	1,218
23		1,838	506	2,344	8,393	796	9,189	924	44	968
24		1,643	507	2,150	6,216	928	7,144	771	74	845
25		3,103	796	3,899	6,016	761	6,777	694	84	778
26		1,807	689	2,496	5,687	731	6,418	579	76	655

(資料:健康支援課)

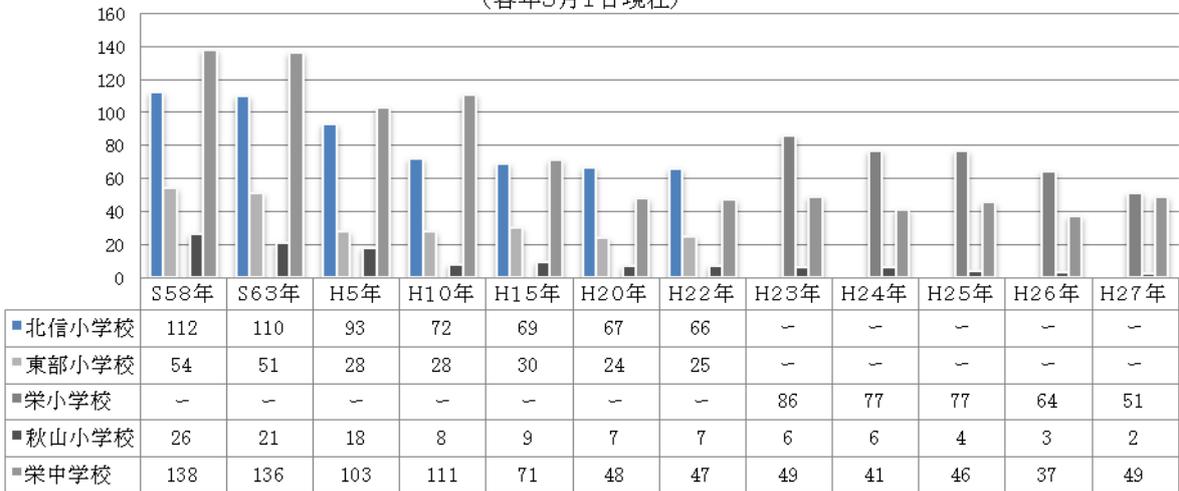
◆教育

●小中学校統合図



小中学校の児童生徒数の推移

（各年5月1日現在）



●栄村・長野県指定文化財

	名 称	種 別	指 定 年 月 日	所 在 地	所 有 者 ・ 管 理 者
長野県指定	阿部家住宅 1棟	長野県宝	昭和50. 11. 4	栄村大字堺4526	阿 部 マスミ
	下水内郡栄村秋山地方の口頭伝承（日常生活用語）	長野県選択無形民俗文化財	昭和50. 7. 18	—	—
	秋山郷の焼畑耕作	長野県選択民俗文化財	平成3. 8. 8	栄村小赤沢	—
	箕作の道陸神祭り	長野県無形民俗文化財	平成3. 8. 15	栄村箕作	箕 作 区
	早蕎麦	長野県選択民俗文化財	平成13. 3. 15	栄村・山ノ内町	—
栄村指定	島田氏古文書	栄村有形文化財（古文書）	昭和47. 11. 28	栄村大字堺1134-2	島 田 敬 子
	北野神社 鱧口	栄村有形文化財	昭和49. 4. 9	栄村大字堺北野	北 野 神 社
	尖頭器（石槍）	栄村有形文化財（考古資料）	平成2. 3. 26	栄村大字北信3433	栄村教育委員会
	一字一石経塚	栄村史跡	平成2. 3. 26	栄村大字堺18285-5	山 田 公 一
	ユモトマユミ	栄村天然記念物	昭和62. 6. 24	栄村大字堺18339-3	山 田 直 廣
	内池館跡	栄村史跡	平成20. 8. 6	栄村大字堺9651	志久見保存会
	黒駒太子画像・聖徳太子孝養像	栄村有形文化財	平成2. 3. 26	栄村大字堺18160	阿 部 宗 由

—栄村のあゆみ—

昭和 31 年 (1956)	9 月	県の裁定により堺村・水内村合併して下水内郡に属することとなる 下高井郡堺村・下水内郡水内村合併して下水内郡栄村として発足 栄村役場水内支所設置 初代議長に阿部富治郎氏就任
	11 月	村長選挙 石沢清一氏無投票当選 水内土地改良区設立
	12 月	青倉水道完成
昭和 32 年 (1957)	1 月	栄村連合青年団発足 水内小学校豊栄分校焼失 11 月 8 日新築落成
	4 月	堺、水内農業共済組合合併 栄村農業共済組合設立 初の栄村議会議員一般選挙 定数 22 名
	5 月	議長に阿部信一郎氏就任
	7 月	堺小学校五宝木分校設置 11 月 22 日新築落成
	9 月	堺、水内森林組合合併 栄村森林組合設立
	11 月	堺小学校上野原分校移転 新築落成 議長に斉藤信義氏就任
昭和 33 年 (1958)	9 月	台風 21 号 被害額 280 万円 村章制定
	12 月	堺小学校中央分校新築落成 秋山診療のため東京より徳武医師を迎える
昭和 34 年 (1959)	4 月	栄村学校編成替 堺小学校より北野・長瀬・志久見・3 分校独立し東部小学校開設 長瀬を本校とする 中央分校は従来どおり堺小学校の分校とする 堺小学校秋山分校を秋山小学校とする
	8 月	台風 7 号により千曲川増水 堺小へ浸水
	9 月	天地へ電燈が入る
昭和 35 年 (1960)	4 月	豊栄小学校独立 6 日開校式
	7 月	栄村史水内編刊行
	11 月	村長に石沢清一氏再選 五宝木へ電燈が入る
昭和 36 年 (1961)	2 月	青倉部落雪崩災害発生 4 戸崩壊・11 人死亡
	4 月	課設置条例制定 村長事務部局に総務・住民・建設 3 課設置 栄村連合婦人会創立
	5 月	栄村商工会設立
	6 月	百合居橋完成 渡初め式
	7 月	長瀬橋完成 渡初め式
	9 月	屋敷公民館落成
昭和 37 年 (1962)	4 月	坪野公団造林契約 59ha
	10 月	秋山小学校寄宿舎落成
	11 月	水内開拓農業協同組合信毎文化賞受賞
	12 月	百合居水道完成
昭和 38 年 (1963)	6 月	議長に中村憲策氏就任
	8 月	上野原公民館落成

	10月	栄村老人クラブ結成 会員 473名
	11月	豪雪地帯指定 長瀬公民館落成 林道滝見線完成 延長 3,403m・幅員 4.0m
	12月	中条川橋完成 渡初め式 志久見川橋完成 渡初め式 エノキ茸栽培始まる
昭和 39 年 (1964)	10月	村行造林 志久見 23ha・箕作 18ha 栄村役場移転新增築落成移庁(6月起工)
	11月	栄村史堺編刊行 村長に市川和雄氏当選
昭和 40 年 (1965)	4月	議長に山田義正氏就任
	5月	議長に保坂益男氏就任 昭和 29 年設置の栄村パン工場廃止
	6月	極野公団造林契約 126ha 栄村役場秋山支所開設
	8月	苗場山頂ヒュッテ落成 営業
	9月	横倉沢橋完成
	10月	横倉に NHK テレビサテライト局完成 志久見児童館落成
	11月	月岡公民館落成
	12月	村有ブルドーザーによる道路除雪始まる 小滝公民館落成 津南地域清掃センター 一部事務組合設立
昭和 41 年 (1966)	3月	森地区簡易水道敷設きまる
	5月	水内開拓当初計画竣工 水田 90ha・道路 25km・水路 23km
	6月	秋山保健福祉館落成(兼支所) 奥志賀スーパー林道計画策定 事業予想 19 億 4 千万円 幅員 4.0m・延長 70km・地元負担 15.8%
	8月	鳥甲線開通
	9月	原向公民館完成 合併 10 周年記念式典
	10月	秋山診療所落成
	12月	振興山村指定 岳北保健衛生施設一部事務組合設置 栄村も加入 栄村母子健康センター落成 北野橋完成 全長 34.6m
昭和 42 年 (1967)	1月	集中豪雪列車不通続く 自衛隊出動・生活必需物資輸送 知事来村
	8月	切欠公民館落成
	10月	栄村農事放送農業協同組合設立
	11月	農事放送電話施設起工
	12月	秋山有線放送電話農事放送農協加入のため廃止
昭和 43 年	3月	議長に半藤成美氏就任

(1968)	9月	箕作農業センター落成
	10月	火葬場落成
		農事放送工事竣工 事業費 3,580 万円・加入者 856 戸
	11月	村長に市川和雄氏再選
昭和 44 年	4月	明治百年記念植林(上野原) 25ha
(1969)	5月	議長に桑原健氏就任
	8月	北野公民館落成
	10月	林業構造改善事業指定
	12月	小赤沢簡易郵便局設置
昭和 45 年	5月	過疎地域対策緊急措置法に基づく過疎地域の指定 過疎地域振興計画作成
(1970)		議長に保坂益男氏就任
	11月	横倉駅貨物取扱廃止 屋敷橋竣工
	12月	栄村文化財保護条例制定 箕作公団造林契約 163ha 秋山地区ブルドーザー除雪始まる
昭和 46 年	1月	栄村振興 10 ヶ年計画決定
(1971)	4月	議会事務局設置
	7月	北信地域広域市町村圏設定
	9月	暮坪集落集団移住閉村式
	10月	秋山郷地域集団電話完成 250 戸加入 特別豪雪地帯指定 切明温泉ボーリング 自噴 55℃・毎分 600ℓ
	11月	泉平林業後継者の家設置 山村開発センター(村民会館)新築工事着工
	12月	志久見に栄村福祉企業センター完成
昭和 47 年	3月	北野美座川橋完成
(1972)	7月	秋山郷温泉保養センター雄川閣完成 339m ² ・40 名収容
	8月	福祉企業センター北野分場設置 平滝駅簡易委託駅となる
	10月	福祉企業センター中央分場設置 栄村村民会館落成
	11月	村長に市川和雄氏再選
昭和 48 年	3月	大規模畜産団地(肉用牛)指定
(1973)	4月	振興山村第 2 次事業開始
	5月	議長に広瀬豊勝氏就任
	8月	長瀬にNHKサテライト局開局
	10月	秋山林道竣工式 昭和 33 年着工 47 年完成 延長 27,251m・幅員 4.0m・事業費 3 億 3,510 万円
	11月	県営東部地区農用地開発事業完成 畑造成 80ha・事業費 1 億 168 万円
昭和 49 年	3月	坪野飲料水供給施設完成
(1974)	4月	秋山郷観光協会設立
	8月	秋山郷温泉保養センター雄川閣増築工事完成 増築面積 357m ² ・60 名収容

		東栄化成栄村工場事業開始
昭和 50 年	11 月	今泉地区集団移住実施 村外 1 戸・村内(青倉)4 戸 過疎対策事業により新築の村営住宅に入居
(1975)	5 月	北信中学校・堺中学校・秋山中学校を統合して森堂原地区に栄中学校設置決定
	6 月	林業構造改善事業(第 2 次)指定
	7 月	栄中学校用地買収・造成 通学道路・路線橋工事始まる
	8 月	横倉・切柳地区 NHK テレビ難視聴解消のため共同アンテナ設置
	12 月	五宝木地籍へ村営牧場 20ha 完成
昭和 51 年	3 月	村単小規模(1ha 以上 10ha 未満)基盤整備制度創設
(1976)		村営バス事業開始決定
		泉平飲料水供給施設完成
	6 月	合併 20 周年記念植樹祭 泉平 1ha
	7 月	栄中学校建築着工
		第 2 次林業構造事業開始
	9 月	村制 20 周年記念式典(村章改定)
	11 月	村長に広瀬豊勝氏就任
昭和 52 年	4 月	栄中学校(北信中・堺中・秋山中)に統合
(1977)		東部小学校(東部小・志久見分校・北野分校)に統合
		議長に関沢栄市氏就任
		韓国から内科医師江山先生赴任
	6 月	天代橋完成
	9 月	笹原共同作業所落成
	10 月	峰越林道切明線完成
	11 月	平滝簡易水道完成
	12 月	雪害対策救助員設置要綱制定
昭和 53 年	2 月	栄中学校体育館落成
(1978)	3 月	水内・堺・東部農協合併し栄村農業協同組合設立
	4 月	北信小学校(水内小・豊栄小・堺小・中央分校)に統合
		秋山小学校(秋山小・上野原分校・五宝木分校)に統合
		平滝以北から県境までの国道改良計画示される
	6 月	奥志賀スーパー林道全線開通
	7 月	栃川台地休憩所完成
		栄中学校プール及び運動場完成
	11 月	電話自動化になる
	12 月	野田沢・天代生活改善センター落成
昭和 54 年	3 月	韓国から歯科医師の長田先生赴任
(1979)	6 月	栄村歯科診療所開設
	9 月	小滝飲用水供給施設完成
	11 月	栃川台地テニスコート 4 面完成
		NHK 長野放送が秋山地区を難視聴解消
	12 月	栄村農協事務所移転独立 昭栄電子横倉工場落成
昭和 55 年	3 月	栄村診療所落成
(1980)	4 月	内科・歯科・一般衛生・管理部門を住民課から診療所へ移す
		新過疎地域振興計画樹立

		高額療養費委任払実施
	11月	村長に広瀬豊勝氏再選 白鳥農村研修集会施設落成
	12月	栄村林業センター落成
昭和56年 (1981)	1月	豪雪による災害救助法適用
	3月	森電子森工場落成
	4月	社会福祉協議会法人化 議長に関沢栄市氏就任
	6月	3ヵ年無火災記念式典 飯山線を守る会設立
	8月	峰越連絡林道野々海天水越線完成。 台風15号秋山地区大被害
	9月	村制25周年記念式典 60名表彰
	12月	村営住宅(第2種公営住宅)完成 五宝木の3世帯入居
昭和57年 (1982)	3月	北信保育園新築落成
	4月	北信保育園認可保育所として発足 栄村さけを呼び戻す会設立
	7月	台風10号通過 被害総額3億1,834万円
	8月	浩宮様苗場山登頂 山頂ヒュッテにご一泊(23日)
	9月	台風18号により千曲川大氾濫 箕作地区浸水
	10月	上越新幹線湯沢駅前共同駐車場完成 津南・旧中里・旧松之山・栄・野沢温泉5町村で使用
	11月	上越新幹線開通 栄村・東京間3時間になる 信濃白鳥駅・横倉駅簡易委託駅になる
	12月	村営住宅に消雪型屋根導入 柳式1戸・地熱式1戸 秋山小学校新築落成
昭和58年 (1983)	1月	映画「栄村に生きる」製作クランク・イン
	3月	東部保育園新築落成 東京で栄村出身者とふるさと懇親会
	4月	森宮野原駅・越後湯沢駅間急行バス開通 国土調査(地籍調査)事業に着手
	6月	今泉にふるさとの家開設 都市との交流始まる 議長に樋口久直氏就任
	9月	農業共済事業広域合併覚書調印 岳北1市3村 台風10号により千曲川前年の台風18号をうわまわる氾濫 箕作・月岡・塩尻・平滝・白鳥の沿岸被害
	11月	千曲川にさけ回帰 西大滝ダムで1匹発見 東京栄村会設立総会 会員約180名
	12月	村営住宅(第2種公営住宅)完成 2戸
昭和59年 (1984)	1月	豪雪対策本部設置
	2月	豪雪による災害救助法適用 吉村知事豪雪状況視察
	4月	映画「栄村に生きる」完成 森宮野原駅前駐車場完成

	5月	東京栄村会第1回総会開催
	7月	野々海池にシナノユキマス放流 1年魚100匹・稚魚3,000匹
	10月	村長に広瀬豊勝氏再選 秋山郷温泉保養センター雄川閣増築工事完成 増築面積292㎡
	12月	林道滝見線全線開通 豪雪対策本部設置
昭和60年 (1985)	1月	災害救助法適用
	3月	東部小学校新築落成
	4月	栄村診療所から栄村保健センターに名称変更 議長に樋口久直氏就任
	6月	栄村行政改革推進委員会発足
	7月	台風6号による千曲川氾濫 箕作・月岡地区浸水
	8月	秋山郷楽養温泉館完成 新森宮野原橋完成 ブッポウソウ発見 (9月県の天然記念物に指定)
	9月	県民運動競技北信ブロック大会栄村で開催
	10月	非核平和村を宣言
	11月	千曲川にさけ回帰 西大滝ダムで4匹発見 秋山バス通年運行になる 栄大橋・青倉橋開通
昭和61年 (1986)	1月	豪雪対策本部設置
	3月	老人福祉センター落成
	4月	栄村振興公社設立 菅沢農地作付開始
	5月	秋山バス切明まで乗り入れ 野々海キャンプ場完成
	9月	村制30周年記念式典
	10月	中条温泉湧出
	12月	白鳥就業施設落成
昭和62年 (1987)	2月	地震群発
	3月	飯山栄村会結成 (会員62名) 第1回田舎百貨店開催
	4月	克雪生活圏整備事業導入 ねこつぐら商品化
	8月	日本最小ハッチョウトンボ発見
	9月	栄村総合雪対策条例制定
	10月	白鳥大橋開通
	11月	克雪宣言 日隠橋開通
	12月	森大橋開通 秋山防災行政無線開局 村営住宅森第3完成 2戸

昭和 63 年 (1988)	4 月	診療所内科医師に林先生・歯科医師に山本先生就任 村長広瀬豊勝氏逝去	
	5 月	村長に高橋彦芳氏就任	
	6 月	降ひょう被害発生 被害 1,200 万円	
	10 月	匠の里モデル工房竣工	
	12 月	秋山直通バス運行開始 志久見雪坪・横倉共同アンテナ設置	
平成元年 (1989)	3 月	栄村克雪対策基金設置 北信小学校体育館新築落成	
	4 月	村単小規模基盤整備制度創設 県単克雪事業導入	
	5 月	議長に斉藤励二氏就任 のよさの里オープン	
	6 月	栄村ジュニアスポーツ少年団発足	
	8 月	栄村庭球場照明施設設置	
	9 月	青倉トンネル供用開始	
	10 月	新川屋栄村工場誘致	
	11 月	村単による農道アスファルト舗装開始	
	12 月	役場第 2・第 4 土曜日閉庁始まる 栄村診療所増築工事竣工 栄中学校ふるさと太鼓 SBC 音楽コンクール東日本大会和楽器の部で最優秀校となる	
	平成 2 年 (1990)	1 月	森宮野原駅構内に JR 日本最高積雪地点の標柱設置 集中豪雪対策本部設置
		3 月	栄村総合雪対策計画策定 「栄村の石造文化財」発刊
		4 月	小赤沢物産楽養館落成
5 月		森林の市初参加	
6 月		栄村自然環境保護条例制定	
7 月		トマトの国中糸温泉オープン 農業委員に初の女性委員誕生	
9 月		役場事務一部電算化開始 月岡歯科診療所廃止 南信濃村と信州秘境の郷協定調印 過疎地域活性化計画樹立	
10 月		東京栄村アンテナショップ開設 一般国道 117 号栄道路全線開通 第 1 回栄村交通安全住民大会開催	
11 月		東京都武蔵村山市と姉妹都市提携 早朝集落内道路除雪開始 雑穀シンポジウム開催	
平成 3 年 (1991)		3 月	若者向村営住宅白鳥第 1 団地 1 棟 3 戸完成 坪野・原向地区に定期バス乗り入れ開始 和山地区飲料水供給施設完成

	4月	土木関係直営事業本格的に始まる
	5月	北信小学校校舎新築工事着工
	7月	村制施行 35 周年記念栄村縦断駅伝大会
	8月	「秋山郷の焼畑耕作」県選択無形民俗文化財に選択 「箕作の道陸神祭り」県無形民俗文化財に指定
	9月	村制 35 周年記念式典
	12月	村道中条 2 号線開通 若者向村営住宅白鳥第 1 団地 1 棟 3 戸完成
平成 4 年 (1992)	2月	第 1 回さかえ雪ん子まつり開催
	3月	北信小学校校舎落成
	4月	村長に高橋彦芳氏無投票再選 村営バス泉平・小滝に乗り入れ開始
	7月	北信小学校隣に農村広場完成 横浜市栄区と交流会
	8月	北野温泉湧出 45℃・毎分 3000 世界そば博覧会参加
	9月	北信小学校屋外水泳プール完成
	10月	北野温泉共同浴場完成
	11月	第 1 回栄村防災訓練開催
	12月	若者向村営住宅白鳥第 1 団地 1 棟 3 戸完成
平成 5 年 (1993)	1月	佐部流山周辺森林生態系保護地域設定される 本村地区分 3,435ha
	4月	(社)栄村社会福祉協議会の事務所庁舎 2 階に設置 津南秋山長野原線国道 405 号に昇格
	5月	村議会議員選挙 村制施行後初の無投票当選 議長に半藤長四郎氏就任
	6月	横倉農村広場にマレットゴルフ場完成 第 1 回栄村マレットゴルフ大会開催 旧秋山小学校・村民会館で飯塚英春氏の苗場山写真展開催
	8月	信州博覧会市町村催事で「栄村の日」開催 栄村老人総合福祉センター建設着工 栄村総合調査第 1 回村民集会開催 小沢征爾氏・ロストロポービッチ氏ら北野天満宮・常慶院・秋山地区で公演
	9月	県民さわやかスポーツ祭北信ブロック大会開催 冷夏による農作物冷害対策本部設置 被害額 1 億 8 千 27 万 6 千円
	11月	横倉チビッコ広場完成
	12月	北野天神橋開通 村道中条 2 号線沿いに栄村就業施設完成
平成 6 年 (1994)	1月	道の駅「信越さかえ」・栄村物産館「またたび」落成 第三セクターで(有)さかえ物産センター設立
	2月	農業危機突破村民大会開催
	3月	さかえ森遊クラブ設立
	6月	県営農地開発事業「菅沢地区」完成 工期 11 年・造成面積 39ha・事業費 7 億 6,100 万円 農道整備事業「西ノ峰線」完成 工期 8 年・延長 4,193m・事業費 4 億 6,750 万円
	8月	記録的な猛暑により天地及び各地区で水不足発生 干ばつによる農作物被害額約 4 千万円

		栄村観測史上最高の 39 度を記録
		林道「栄線」第 1 期工事着工（五宝木・矢びつ登渡間）
	9 月	集中豪雨のため村内各地で農地災害発生 被害額約 1 億 4 千万円
	10 月	林道「野々海線」全線舗装完成 上野原砂防ダム完成 県民芸術祭県民コンサート開催
	11 月	国道 117 号白鳥・東大滝間に東大滝橋完成 市川バイパス開通
	12 月	横倉マレットゴルフ場に夜間照明施設設置 栄村高齢者総合福祉センター完成
平成 7 年	1 月	栄村総合調査(中間報告)村民集会開催
(1995)	2 月	自治研センター全国集会 秋山郷で開催 SBC こども音楽コンクールに秋山小学校児童参加
	3 月	森宮野原駅簡易委託駅になる
	4 月	栄村高齢者総合福祉センターオープン
	5 月	秋山郷活性化センター建設着工 北信地区植樹祭 横倉農村広場で開催
	6 月	新井英一氏コンサート 村民会館で開催
	7 月	南信濃村遠山中学校と交流 百合居温泉湧出 50℃・毎分 850
	8 月	戦後 50 周年村民の集い開催
	9 月	庁舎車庫 2 階にスキー場設計事務所開設 小滝区が全国美しいむらづくり表彰受賞
	11 月	山路智恵絵手紙展 10 月から 1 ヶ月間開催 延 12,016 人来場
	12 月	坪野地区集会施設兼東部線バス車庫落成 百合居温泉簡易共同浴場落成
平成 8 年	2 月	集中豪雪対策本部設置
(1996)	4 月	村長に高橋彦芳氏無投票再選 秋山保育園通年保育開始
	6 月	秋山郷活性化センター「とねんぼ」落成
	7 月	振興公社 10 周年記念式典
	9 月	村制 40 周年記念式典（村の花「カタクリ」・村の鳥「ブッポウソウ」制定） 全国小さなあわせ絵手紙展開催 「小さなあわせ絵物語」発刊 「広報さかえ縮刷版」発刊
	10 月	貝立橋完成 栄中学校 20 周年記念式典 村制 40 周年記念村民大運動会開催
	11 月	栄村ブランド米「こころづかい」発売 6 日初雪 森 6cm・秋山 25cm
	12 月	さかえ倶楽部スキー場オープン
平成 9 年	1 月	無雪の正月

(1997)	2月	さかえ倶楽部スキー場で村民スキー大会開催	
	4月	役場機構改革(企画課+商工観光課→企業観光課) 村議会議員選挙 「小っちゃなしあわせ絵手紙展」が第1回ふるさとイベント大賞受賞	
	5月	絵手紙世界展「私の小さな金メダル」作品募集 議長に福原孝平氏就任 村道長瀬秋山線「矢櫃トンネル」開通 上野原地滑り対策工事完成	
	6月	トマトの国に巨大彫刻完成	
	7月	山路智恵絵手紙展「夢追いかけて3000日」オープン(物産館)	
	8月	JR飯山線新車両導入	
	10月	村道鳥甲線竣工式(総工期20年)	
	11月	苗場山山自然体験交流センター落成(鉄骨木造平屋建て 床面積231m ²) 北信小学校20周年記念式典 女性1日議会開催	
	12月	3日初雪 森53cm・秋山70cm 北野天満温泉竣工式 北野天満温泉「学問の湯」オープン さかえ倶楽部スキー場グランドオープン ナイター設備完成	
	平成10年 (1998)	1月	無雪の正月(2年連続の小雪となる) さかえ倶楽部スキー場ナイター営業開始
		2月	長野冬季オリンピック聖火リレー栄村へ 「絵手紙世界展」開幕 長野冬季オリンピック開幕 栄村総合調査報告会(平成5年～長野県地方自治研センター)
		3月	長野パラリンピック聖火リレー栄村へ 長野県スキー連盟A級公認 第1回貝立山麓スキー大会 長野パラリンピック開幕 中条に農産物加工センター落成
4月		消防常備化 岳北広域行政組合に加盟	
8月		絵手紙世界展閉幕 全国から8万点余りの絵手紙が集まる スキー場にマレットゴルフ場オープン	
9月		第4回栄村交通安全住民大会開催 林道栄線五宝木トンネル貫通	
10月		栄村スポーツ少年団10周年記念行事開催	
11月		栄分遣所開設 消防ポンプ車・救急車が24時間体制で配備 村営住宅横倉団地完成 東部小学校40周年記念式典 第2回女性1日議会開催 19日初雪	
12月		農事放送デジタル有線施設更新 秋山地区加入 全村に新通信網整備 飯山市・木島平村・豊田村・栄村の農協合併により北信州みゆき農協誕生	

		村道長瀬秋山線消雪工事完成
		越後湯沢行き急行バス減便(1日2往復)
平成11年 (1999)	1月	年末からの集中降雪 1週間降り続く
	2月	第8回雪ん子まつり開催 名誉村民 山本莊毅先生ご逝去
	3月	国の景気対策による地域振興券交付
	4月	栄ふるさと太鼓サンフランシスコ桜祭りに出演
	5月	第1回栄村職員研修会開催 長期活性化計画策定のための村民アンケート実施 公募等による「計画策定研究委員会」発足
	6月	栄村公式ホームページオープン 第12回栄村田舎百貨店と山菜祭り同時開催(物産館) 栄村ホームヘルパー養成講習会開催(3級課程) さかえ幼年消防クラブ発会式
	7月	農業委員選挙無投票により15人当選 奥志賀公園栄線全線舗装完成祝
	8月	武蔵村山市と秋山小学校生徒による自然体験交流会
	9月	第10回記念月夜のコンサート in 常慶院
	10月	「小ぢやなしあわせ絵手紙展」開催 約2千点展示 公文書公開制度スタート 森商店街に新街灯設置
	11月	県営中山間地域総合整備事業栄地区事業完了式 北野温泉公園「学問の橋」完成 第3回女性1日議会開催 秋山小学校40周年記念式典 若者が語る農林業の集い・収穫祭開催 16日初雪
	12月	スキー場初めて年内営業開始(12月18日) 積雪30cm 秋山45cm NHK「ゆく年くる年」常慶院から生放送
平成12年 (2000)	1月	菅沢堆肥センター組合設立
	2月	第9回さかえ雪ん子まつり開催 青少年健全育成助成事業 子供和太鼓交流会開催
	3月	第13回田舎百貨店開催
	4月	村長に高橋彦芳氏無投票再選 北信広域連合設立 総合振興計画策定 「みどり豊かな、心のやすらぐ村」 介護保険制度スタート 森林整備計画策定 チャイルドシート購入補助開始
	7月	林道栄線五宝木トンネル開通
	9月	第11回月夜のコンサート開催 佐部流山登山道復活

	10月	栄むらじゅう絵手紙展開催 栄村高齢者生きがいセンター落成 栄村堆肥センター落成
	11月	庁舎及び森駅周辺総合整備検討委員会設置 林道天代原向線完成 広域基幹林道 栄線 五宝木トンネル竣工
	12月	道踏み支援事業開始
平成 13 年	1月	豪雪対策本部設置
(2001)	2月	県知事来村「知事と語ろう長野県の明日」開催 第 10 回さかえ雪ん子まつり開催
	3月	森・中条地区農業集落排水事業完成
	4月	村議会議員選挙
	5月	議長に桜沢恒友氏就任
	8月	命の誕生「島津よしのり木の世界」開催
	9月	第 1 回栄村保健福祉大会開催 栄むらじゅう絵手紙展開催 栄中学校生徒を対象に県下初の俳句ライブ開催 第 12 回月夜のコンサート開催 村制 45 周年記念式典
平成 14 年	3月	全日本スキー連盟 B 級公認 第 1 回さかえ倶楽部スキー選手権大会開催 第 11 回さかえ雪ん子まつり開催 長野電鉄木島線廃止 森第 4 団地プラスパ森完成
(2002)	4月	栄分遣所業務拡充により栄分署となる
	7月	水内土地改良区解散
	8月	旧庁舎解体開始
	10月	栄むらじゅう絵手紙展開催
	11月	新庁舎等建設工事起工式 日中絵手紙交流展中国蘇州市で開催 遣蘇使節団として参加 市町村合併問題対話集会実施(秋山・東部地区)
	12月	市町村合併問題対話集会実施(北信地区) 有線高速インターネット(ADSL)接続サービス開始
平成 15 年	2月	小さくても輝く自治体フォーラム開催 46 首長 600 余名
(2003)	5月	10 万通日中絵手紙交流展開催 蘇州市から絵手紙交流使節団 7 名来村
	8月	住民基本台帳ネットワークシステム第 2 次サービス開始
	9月	旧森駅舎解体工事・森駅前活性化センターの建設工事開始
	10月	北信州むらじゅう絵手紙展開催
	11月	市町村合併問題対話集会開催(秋山郷総合センター・老人福祉センター・さかえ倶楽部スキー場)
	12月	市町村合併問題に関する集落懇談会開催(各集落 17 会場)
平成 16 年	1月	臨時議会で自律のむらづくり決定
(2004)	2月	栄村役場新庁舎落成 27 日引渡し
	4月	森宮野原駅交流館「ふきのとう」竣工式

		栄村役場新庁舎開庁式
		村長に高橋彦芳氏無投票再選
平成 17 年	10 月	台風 23 号により千曲川増水 現地対策本部設置 栄村総合庁舎竣工式 新潟県中越地震発生 震度 5 弱を記録
(2005)	2 月	豪雪対策本部設置 (4 日)
		2005 年スペシャルオリンピック開催 ルーマニア選手団ホームステイ
	4 月	NPO地球緑化センターから「緑のふるさと協力隊員」2 名受入 村議会議員選挙 無投票当選 12 名
	5 月	議長に藤木八十治氏就任
	6 月	農業委員選挙 無投票当選 10 名
	7 月	小柴昌俊氏・中村修二氏を迎え「2005 世界物理年記念信越講演会」開催
	8 月	集中豪雨災害発生(激甚災害)
	9 月	半藤茂俊氏助役退任 島田茂樹氏就任 10 月 1 日より助役が収入役の職務を兼掌
	12 月	特別養護老人ホーム「フランセーズ悠さかえ」起工式 さかえ倶楽部スキー場 10 周年
平成 18 年	1 月	豪雪対策本部設置(4 日) 災害救助法適用(7 日)
(2006)		国道 405 号(見玉・大赤沢間)雪崩のため全面通行止め (8~12 日・14~15 日) 自衛隊員 39 名が秋山地区で災害派遣活動実施 (11~13 日)
	6 月	スキー場にサフォーク牧場開設(14 日)
	7 月	50 周年記念縦断駅伝大会開催(2 日) ギョウジャニンニクシンポジウム開催(6 日 とねんぼ) 千曲川異常増水災害対策本部設置 箕作に避難勧告(19 日) 絵手紙収蔵館起工
	8 月	グルッとまるごと栄村 100km サイクリング開催(5~6 日)
	9 月	北信州農村女性のつどい開催(8 日) 村制 50 周年記念式典(30 日)
平成 19 年	3 月	さかえ雪ん子祭 村営バス、東部路線バス廃止
(2007)	4 月	デマンド交通運行開始
	7 月	新潟県中越沖地震発生(16 日 栄村震度4) 栄村絵手紙収蔵館竣工式(3 日 オープン 12 日)
	8 月	グルッとまるごと栄村 100kmサイクリング(4~5 日)
平成 20 年	4 月	栄村直営診療所開設、市川医師就任 栄ふるさと太鼓サンフランシスコ公演 栄村長・栄村議会議員補欠選挙(20 日) 村長に島田茂樹氏初当選、議員に上倉和美氏無投票当選
(2008)	6 月	北信州植樹祭(7 日)
	10 月	マタギサミット開催(28・29 日) 副村長に斎藤家富氏就任 東部小学校開校 50 周年記念式典
	12 月	信濃白鳥駅新築
平成 21 年	1 月	初の修学旅行生受け入れ(熊本県南関高校)
(2009)	2 月	にほんの里 100 選に栄村が選ばれる
	4 月	栄村診療所に佐々木医師就任 栄村議会議員一般選挙 秋山郷保存民家屋根改修

東部保育園(対象児童3名)、秋山保育園(対象児童0名)が休園。秋山保育園は1年間のみ。

- 5月 議長に赤津安正氏就任
- 7月 高円宮妃殿下来村
平成21年度過疎地域自立活性化優良事例表彰(全国過疎地域自立促進連盟会長賞受賞)
- 8月 栄村小学校統合審議会第1回開催
栃川発電所本格工事着工
- 9月 地域情報通信基盤工事着工
- 11月 秋山小学校独立50周年式典
- 平成22年 1月 大雪のため14日午前9:30から6時間にわたりR117の県境から市川橋間が通行止めとなる。
(2010) 2月 北野天満温泉湧水が「信州の名水・秘水」(長野県選定)に選ばれる。
3月 第5次「栄村総合振興計画」策定。(基本構想H22～31年度、基本計画H22～26年度)
4月 有線テレビジョン放送施設設置許可状が信越総合通信局長から交付される。
5月 第1回栄村・秋山郷観光フォトコンテスト授賞式開催。
7月 栄中学校耐震補強工事が2ヵ年計画で開始される。
9月 村内の携帯電話不感地域(原向・坪野・五宝木)にNTTドコモ基地局を村で設置。
第20回月夜のコンサートファイナル開催(11日)
栄村過疎地域自立促進計画(H22～27)策定
栄中学校全校合唱がSBC子ども音楽コンクールの地区大会で優秀賞を受賞(26日)
- 10月 14日から全村でのケーブルテレビ視聴が可能になる。有線放送業務終了。
- 11月 JR平滝駅舎竣工式(4日)
東部小学校閉校記念お別れ会(13日)
新屋敷橋の渡り初め式(25日)
- 12月 東京電力「栃川発電所」が完成し、9日から運転開始。
北野温泉湧水を利用して、長野県による小水力発電の実証実験が開始される。
- 平成23年 2月 箕作集落センター完成。
(2011) 3月 3月12日午前3時59分長野県北部を震源とする震度6強の地震で甚大な被害が発生。
本震 3:59 震度6強
余震 4:31 震度6弱
余震 5:42 震度6弱
村は6:00に災害本部を立ち上げ、11:00に804世帯2042人に対して避難指示。
12日 災害救助法が適用
13日 激甚災害に指定
18日 栄村復興支援機構「結い」(ボランティア組織)を結成。事務所を役場議場に置く。
18日 県職員(玉井企画幹)1名の派遣を受ける。(～5月31日)
21日 9:00 避難指示解除。中条地区に避難勧告。
22日 19:30 青倉北向地区に避難勧告。
24日 中学校卒業式及び北信小学校と東部小学校の卒業式と閉校式開催
29日 7か所の避難所のうち4か所(フランセーズ悠さかえ、箕作集落センター、栄中学校、東部小校)の避難者数が0人になる。
- 4月 1日 義援金から秋山を除く被災世帯を対象に1世帯当たり5万円の見舞金を配分
3日 栄村復興支援機構「結い」の事務所を森宮野原駅交流館2階に移転。
4日から18日までの予定で建物被害認定調査開始。県、近隣市町村、建築士会からの応援を得て1班3人の10班態勢。
9日 栄小学校の避難者数が0人になる。

- 12日 栄小学校の開校式・入学式。震度5弱の余震によりR117が一時通行止めになり1時間遅れで開催される。
- 20日から「り災証明書」発行開始
- 28日 栄村議会震災復興支援特別委員会設置
- 30日 17:00 県道長瀬横倉(停)線貝廻坂の通行止め解除
- 5月 6日 第1回義援金配分委員会開催
- 10日 10:05 大雨のため中条地区と青倉地区の一部に避難指示。17:30 指示解除。
- 14日 「栄村の復興を考える会」が阿部県知事も参加して栄中学校ランチルームで開催。
北野天満温泉駐車場に仮設住宅5戸が完成し、5月14日から入居開始。
横倉農村広場に仮設住宅35戸が完成し、5月29日から入居開始。
- 6月 1日 北野天満温泉の避難者数が0人となる。
- 12日 復興イベントが役場村民広場で開催される。
- 20日 栄村役場の避難者数が0人となり、すべての避難所が閉鎖される。
横倉農村広場に第二次分の仮設住宅15戸が完成し、6月20日から入居開始。
- 30日 15:00 国道117号の大型車(8t超)通行止めが解除
- 7月 3日 「清水アキラものまねショー」かたくりホールで開催される。
- 11日 中条川土石流に係る避難勧告解除。
- 12日 「栄村震災対策本部」を解散し、「栄村震災復興本部」を設置。
- 22日 栄村農事放送農業協同組合の清算総会及び解散記念式典開催(3月17日から延期)
- 30日 栄中学校において「絆」交流音楽祭が開催される。
- 8月 6日～7日 グルッとまるごと栄村サイクリング特別編開催
- 7日 サイトウキネンフェスティバル出前コンサートがかたくりホールで開催される。
- 11日 栄村災害弔慰金支給審査委員会において死亡者3人を「災害関連死」に認定。
- 12日 復興祈念花火大会が横倉農村広場で開催される。
- 10月 長野県から職員1名派遣される。(平成26年3月まで)
- 16日 午前中に栄村収穫祭、午後には栄中学校体育館で「無茶フェス2011in 栄村」
同日の午後は、信州大学中山間地域プロジェクトと栄村の共催によるシンポジウム「復旧・復興の現状と今後の課題～震災後7カ月を経過して～」が開催される。
- 17日 横倉仮設住宅に仮設の集会所が完成。
- 20日 横倉仮設住宅集会所に併設した仮設食料品店舗が開店
- 27日 第1回栄小学校音楽会が開催される。
- 30日 上郷中学校と栄中学校が綱引きで交流する最後の「しなちく祭」が開催される。
- 11月 栄村診療所の佐々木医師が入院したため、診療所業務を飯水医師会に委託(11月26日～翌年3月)
- 12月 19日 中条温泉トマトの国がリニューアルオープン
- 26日 ケーブルテレビの告知放送に「リピートラジオ放送」機能が追加され、運用が開始される。
- 平成24年 1月 6日 16:30頃に仮設住宅の41歳男性が屋根の雪下ろし中に仮設住宅屋根から転落、翌日死亡。
- (2012) 28日 森駅前に仮設による生鮮食料品店が開店
- 29日 10:00 豪雪対策本部設置。(30日～ 毎朝本部会議を開催)
- 29日 19:30頃に中条橋が積雪により崩落する。
- 2月 1日～29日 豪雪により災害救助法が適用される。(小谷村、信濃町、栄村の北部3村)
救助対象世帯(112世帯)の雪下ろし等と地区内道の除排雪を実施
- 5日 国土交通副大臣(奥田建)長野県北部豪雪地域の現地視察に来村
- 13日 衆議院災害対策特別委員会(村井委員長以下13名)豪雪地域の現地調査に来村
- 15日 第1回栄村震災復興計画策定委員会開催

	3月	1日 豪雪対策本部から残雪対策本部へ移行 青倉公民館完成
	4月	村長に島田茂樹氏無投票再選 栄村診療所に本村医師就任 20日 「栄村国際絵手紙タイムカプセル館」、「山路智恵絵手紙美術館」再開 26日 森公民館起工式
	7月	2日 武蔵村山市にアンテナショップオープン 19日 天皇皇后両陛下、長野県北部地震の被災者ご訪問
	8月	5日 グルッとまるごと栄村 100 kmサイクリング
	9月	3日 ロンドン五輪メダリスト三宅宏美氏来村
	10月	1日 副村長に斉藤家富氏再任 16日 栄村震災復興計画決定
	11月	15日 「栄村秋山郷観光協会」設立 15日 信州大学農学部との協力協定調印式 24日 横浜市栄区にアンテナショップオープン 26日 復興公営住宅竣工式
	12月	5日 仮設住宅の取り壊しが始まる 13日 「北信地域定住自立圏形成に関する協定書」締結(中野市、飯山市)
	3月	栄村震災記録集「絆」発刊 村営住宅長瀬団地1棟8戸完成
平成 25 年	1月	栄村歯科診療所に益野歯科医師就任
(2013)	3月	栄村震災記録集「絆」発刊 村営住宅長瀬団地1棟8戸完成
	4月	栄村議会議員一般選挙 山路智恵絵手紙美術館の館長に山路智恵氏就任
	5月	議長に福原和人氏就任
	7月	栄村社会福祉協議会内に「総合サポートセンター」を開設
	9月	16日 台風18号により中条川で土石流発生 栄村森林組合事務所が大規模な被害を受ける 16日 森(中条)地区、青倉(北向)地区に避難指示発令 20世帯54人が各公民館へ避難 翌日避難指示解除
	10月	15日 台風26号により中条川流域で土石流が発生する恐れが高まり森(中条)地区、青倉(北向)地区に避難勧告発令 翌日避難勧告解除
	11月	2日 横浜市栄区と友好交流協定を締結 復興支援員1名配置(社会福祉協議会へ派遣)
	12月	中条橋の竣工式・渡り初め式
平成 26 年	2月	21日～24日 大雪による災害支援 山梨市へ職員3名派遣
(2014)	4月	栄村歯科診療所に益野歯科医師就任 復興支援員2名配置(社会福祉協議会へ派遣) 5日 国道353号十二峠土砂崩落により全面通行止(～8/6) 24日 阿部県知事来村 28日 北野天満温泉チップボイラー火入れ式
	6月	14日 北信州植樹祭(トマトの国 七竈 200 大山桜 30) 25日 杉良太郎コンサート(栄中学校体育館 600名)
	7月	8日 農業委員会委員選挙告示(無投票当選10名)
	8月	10日 県知事選挙投票日(阿部守一氏再選 投票率69.60%)

9月	3日	栄村ライスセンター竣工式	16日	稼働式
10月	13日	台風19号災害警戒本部設置	16:00	避難準備情報発令(中条・屋敷)
			翌14日	16:00解除
	21日	中条川砂防事業促進協議会設立		
11月	3日	栄村表彰式(功労3名 善行2名)		
	5日	大規模土砂災害を想定した合同防災訓練実施(国交省・県・村)		
12月	14日	衆議院議員総選挙投票開票(投票率69.53%)		
	18日	国道405号東電導水路溢水により全面通行止	翌19日	解除
	22日	苗場山麓ジオパークが日本ジオパークに認定される		
3月	17日	CATV故障(五宝木雪崩)		
	23日	農産物販売所竣工		
平成27年 (2015)	4月	栄村歯科診療所に小林歯科医師就任		
		秋山地区に地域おこし協力隊員3名配置		